

令和7年度 小学部 訪問（ 課程ⅡCグループ） 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
17		国語担当5名

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 身近な人の話しかけや会話、読み聞かせなどを通して、いろいろな言葉に触れたり、我が国の言語文化に触れることができる。(小1段階) (思判表力) 身近な人の話しかけや会話、読み聞かせなどを通して、言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりして、視線や表情、発声、体の動き等で表現することができる。(小1段階) (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、視線や表情、発声、体の動き等で自分の思いや要求を伝えることができる。(小1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	17	【A聞くこと・話すこと】 (知及技) ①身近な人の話しかけに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じることができる。(知・技ア(ア)) (思判表力) ②身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて何らかの表現をしたりすることができる。(思・判Aイ) (学・人) ③教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物に気付き、働きかけに表情を変えて対応することができる。(思・判(ア)	【A聞くこと・話すこと】 (知・技) ①教師の話や絵本等の読み聞かせ等に対して顔を動かしたり視線を向けたりしている。 (思・判・表) ②教師の話や絵本の読み聞かせ等に対して表情や身体の動き等で応答しようとしている。 (主学) ③教師や絵本等の読み聞かせ等に対して期待する表情の変化や身体の動きをしている。	【A聞くこと・話すこと】 (知・技) 「はじまりの会」 ・挨拶 ・返事 ・先生のお話 ・絵本に親しもう」 ・季節の絵本 ・行事の絵本 ・昔話絵本 ・その他の絵本 「先生や友達とお話しよう」 ・スクーリングやオンライン学習 「おーい」「ほっとけーき」「くまさんくまさん」等	・教師と一緒に挨拶をする。 ・呼名に対して自分なりの方法で応じる。 ・絵本の読み聞かせやエプロンシアター、パネルシアター、手遊び、指遊び等 ・音やリズムを付けながら言葉を繰り返したり、簡単な言葉を使ったりして伝える。 ・絵本の内容を教師と一緒に簡単に表現したりする。 ・教師や友達などの声や話しかけを聞いて、自分なりに表現する。
2学期		【B書くこと】 (知乃技) ①いろいろな筆記具に教師と一緒に触れたり、線を書いたりすることができる。(知・技イ(ウ)㊦) (思判表力) ②身近な人との関わりや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。(思・判Bア) (学・人) ③いろいろな筆記用具を使って、手指や身体の動きにより、自分なりの方法で書き表そうとすることができる。(知・技イ(ウ)㊦)	【B書くこと】 (知・技) ①いろいろな筆記用具の感触に触れることで快不快を表情で表そうとしていたり、教師と一緒に線を書こうとしている。 (思・判・表) ②教師の言葉かけや選択肢の中から表情や身体の動きで選択しようとしている。 (主学) ③手指や身体の動きで表そうとしている。	【B書くこと】 (知・技) 「教師と一緒にかいてみよう」 ・暑中見舞い ・年賀状 ・書き初め ・水墨画遊び等 ・自由に書いてみよう	・身近なクレヨン、水性ペン、スタンプ等を使って、一緒に書くことに気付き、慣れる。 ・興味・関心のある筆記具や児童の実態にあった筆記具を使い、楽しい雰囲気の中で親しみをもち活動する。 ・音やリズムを付けながら言葉を繰り返し、線や丸、なぐりかきをする。
3学期		【C読むこと】 (知乃技) ①言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりできるようにする。(知・技ア(イ)) (思判表力) ②教師の話や読み聞かせに応じ、発声や表情、身振り等で表現することができる。(思・判Aア) (学・人) ③言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。(小1段階)	【C読むこと】 (知・技) ①呼名や教師の絵本の読み聞かせに気付き、顔を動かしたり、声を出したりしている。 (思・判・表) ②絵本等の読み聞かせに対して表情や手足を動かし、表現しようとしている。 (主学) ③教師の話や絵本の読み聞かせに応じ、表情や身体を動かして気持ちを表現しようとしている。	【C読むこと】 (知・技) 「絵本の読み聞かせやおはなしを楽しもう」 「自分の気持ちを表現してみよう」 「はる なつ あき ふゆ」「まほうのはこ」「あなたはだあれ」等	・好きな絵本を選び、自分なりの方法で教師に伝える。 ・絵本や紙芝居の世界を味わう。

留意点 引継ぎ等	
-------------	--

令和7年度 小学部 訪問（ⅡC課程） 算数 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
14		算数担当5名

目標：（知・技）知識及び技能 （思・判・表）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知・技）数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。（小学部1段階） （思判表力）日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を養う。（小学部1段階） （学・人）数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。（小学部1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	14	A 数量の基礎 （知・技） ・具体物に気付き、表情を変えたり、目を向けたり、目で追ったり、触れようとしたりすること等ができる。（小学部1段階） （思判表力） ・支援を受けながら、関連のあるものとのとを対応させることができる。（小学部1段階） （学・人） ・対象物に意識を向け、対象物を見たり、触れたり、表情を変えたりする等、自分なりに対象物に働きかけようとしたり、教師と一緒に活動に取り組もうとしたりする。（小学部1段階） B 数と計算 （知・技） ①具体物の個数が減っていく、「ある」から「ない」に変化する現象を体感することができる。 ②具体物に触れ、「1個」「2個」「たくさん」を体感することができる。（小学部1段階） （思判表力） ・教師と一緒に、数唱に合わせて具体物に触れることができる。（小学部1段階） （学・人） ・数量に関する遊びに取り組んだり、数量に関する絵本等を見たり聞いたりする。（小学部1段階） C 図形 （知・技） ・いくつかの具体物に触れ、形の違いを体感することができる。（小学部1段階） （思判表力） ・ブロックや粘土等を使って、教師と一緒に積んだり、並べたり、転がしたり、型抜きしたり等ができる。（小学部1段階） （学・人） ・図形に関する遊びや活動に、教師と一緒に取り組もうとする。（小学部1段階）	A 数量の基礎 （知・技） ・表情を変える、身体の一部を動かす、目を向ける、目で追う、触れようとする等、具体物の存在に気付いた様子を見せている。 （思・判・表） ・カレンダーワークやブロック遊び等で、教師と一緒に、関連のあるものとのとを対応させている。 （主学） ・提示物を見たり、触れようとしたり、表情を変えたりする等、自分なりに提示物に働きかけようとしたり、教師と一緒に活動に取り組んだりしようとしている。 B 数と計算 （知・技） ①玉入れの玉などの複数個の具体物を容器から出していき、最後の1個を出した後に容器が空になっていることを教師と一緒に確かめている。 ②「1個」「2個」「たくさん」の言葉を聞きながら、教師と一緒にそれらに合った具体物に触れて確かめている。 （思・判・表） ・具体物に触れながら、教師と一緒に数を数えている。 （主学） ・教師の問いかけに、目の動きや口元の動き、表情など何かしらの変化が見られる。 C 図形 （知・技） ・「ころころ」「ちくちく」等の言葉を聞きながら、それらの言葉のイメージに合う具体物に触れ、感じたことを自分なりに表現している。 （思・判・表） ・ブロックや粘土等を、教師と一緒に積んだり、並べたり、転がしたり、型抜きしたり等している。 （主学） ・玩具等の対象物に気付き、教師と一緒に遊ぼうとしたり、活動に取り組もうとしたりしている。	A きづこう、かんじよう （物の有無、感触の変化、明暗） ○カレンダーワーク、お天気ワーク ○触ってみよう（学習活動全般において教材や素材に触る） ○光遊び ○風遊び ○振動や温感等を体感する遊び ○玩具遊び（ブロック、動く玩具、振動を感じる玩具等） ○いろいろな素材を使った遊び ○触覚、視覚、聴覚、嗅覚を刺激する遊び B かぞえよう （物の有無、1から5の数） ○ボウリング、玉入れなど結果を数える遊び ○学習活動全般において教材や素材に触る ○光遊びや風遊び、ブロックを使った遊びなど ○カレンダーワーク ○読み聞かせ「1・2・3動物園」「はらぺこあおむし」など数量に関する本 C いろいろなかたち （物の形【○、△、□等】） ○かたちをさがそう（家の中、校外学習など） ○かたちにふれよう ○ブロック遊び、粘土遊び、スタンプなど ○ボール遊び ○ビー玉転がし ○ミニカー遊び	・自分の名札を選んだり、自分の名札をボードに貼ったりする。 ・教師の素手やいろいろな感触の素材で、手や顔等、身体に触れる。 ・いろいろな素材で、触覚、視覚、聴覚、嗅覚を刺激する。 ・興味をひくものが現れたり、移動したり、変化したりする様子を観察する。 ・ボウリングなどのゲームを行いピンが倒れたのを見たり、音で感じたりする。 ・ゲームの結果（ボウリングのピンが倒れた数などの得点）の数や量を数えたり比べたりする。 ・学習活動や読み聞かせなどを通じて一緒に数えたり、数を聞いたりする。 ・家にあるものや教材、屋外の看板や建物を見て形を知る。 ・制作活動などを通して形について聞いたり、触れたりする。 ・興味のあるものを分別したり、見つけたりする。 ・遊びを通して楽しい雰囲気を感じながら、ブロックなどの教材に触れて形を感じる。 ・ブロックを積み、並べる、崩すなどして遊ぶ。 ・粘土で型抜きしたり、いろいろな形を作ったりする。
（思・判・表）学期					

	D 測定 (知及技) ・ 極端に差のあるものに触れ、「大きい・小さい」「多い・少ない」「長い・短い」等を体感することができる。(小学部1段階) (思判表力) ・ 大小や多少、長短等に関する遊びを通して、教師と一緒に量の大きさを確かめることができる。(小学部1段階) (学・人) ・ 大小や多少、長短等に関する遊びに教師と一緒に取り組もうとする。(小学部1段階)	D 測定 (知・技) ・ 「大きい・小さい」「多い・少ない」「長い・短い」等の言葉を聞きながら、それらの言葉に合う具体物に触れ、感じたことを自分なりに表現している。 (思・判・表) ・ 大小や多少、長短等に関する遊びに取り組み、教師と一緒に「大きい方(小さい方)」「多い方(少ない方)」等はどれか確かめようとしている。 (主学) ・ 対象物に気付き、教師と一緒に遊びに取り組もうとしている。	D くらべよう (大小、多少、長短等の比較) ○玉入れなど量が増減する遊び ○綱引きや新聞引っ張り遊びなど ○制作活動や読み聞かせ ○魚釣りゲーム	・ 児童が実感できるような極端に大きい、多いなどの事実に関わったり、それらを視覚等の感覚によって大きい、多いと判断したりする。 ・ 大きさの異なる同種の2つの具体物について、それらを「大きい・小さい」、「多い・少ない」等のいずれであるかを判断して区別する。 ・ 大きさや多少、距離感を表す言葉に気付かせるようにする。 ・ 遊びを通して楽しい雰囲気を感じながら、過程や結果における量や距離などの変化を感じる。
留意点 引継ぎ等				

令和7年度 小学部 訪問学級（ⅡC課程） 生活科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
18		生活科担当5名

目標：(知及技)知識及び技能	(思判表力)思考力、判断力、表現力等	(学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能	(思・判・表)思考・判断・表現	(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的習慣や技能を身に付けるようにする。(小1段階) (思判表力) 自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて関心を持ち、感じたことを伝えようとする。(小1段階) (学・人) 自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に関心を持ち、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。(小1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期		ア【基本的生活習慣】 (知及技) 簡単な身辺処理に関する初歩的な知識や技能を身に付けることができる。(小1段階) (思判表力) 簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行動することができる。(小1段階) (学・人) 簡単な身辺処理に取り組もうとしたり、意欲的に行動しようとしたりする等、生活に生かそうとする。(小1段階)	(知・技) 簡単な身辺処理に関する初歩的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 簡単な身辺処理に気付き、何らかの表現をしている。 (主学) 簡単な身辺処理に取り組もうとしたり、意欲的に行動しようとしたりする等、生活に生かそうとしている。	「先生と一緒にやってみよう」	「用便」「清潔」 ・尿意や便意を伝えようとした り、行ったりする。 ・教師の援助にリラックスして応 じる。 ・顔や手を拭いてもらって、体の 清潔を保つ。
		イ【安全】 (知及技) 安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付け ることができる。(小1段階) (思判表力) 身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全 な生活に取り組もうとすることができる。 (小1段階) (学・人) 安全に関する初歩的な学習活動を通して生 活に生かそうとすることができる。(小1段 階)	(知・技) 安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付 けようとしている。 (思・判・表) 身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全 な生活に取り組もうとしている。 (主学) 安全に関わる初歩的な学習活動を通して、 生活に生かそうとしている。	「交通安全教室」 「避難訓練」 「安全に過ごすた めに」	・横断歩道の渡り方や交通ルール の話を聞いたり、絵本を見たりす る。 ・スクーリング等で教師と一緒に 横断歩道を渡る体験をする。 ・スクーリング等で教師と一緒に 安全に避難する体験をする。 ・安全を守るための身近な施設設 備や車等を知る。 ・身の回りにある小さな物などを 口に出来ない、カニキュレを引っ 張らない、苦しいときは先生に伝 える等、自分の身を守る適切な行 動を知る。
		ウ【日課・予定】 (知及技) 簡単な日課について、関心をもつことがで きる。(小1段階) (思判表力) 身の回りの簡単な日課に気付き、教師と一 緒に日課に沿って活動を行うことがで きる。(小1段階) (学・人) 日課に沿って教師と共にする学習活動を通 して、意欲的に活動に参加できる。 (小1段階)	(知・技) 簡単な日課について、関心をもとうとして いる。 (思・判・表) 身の回りの簡単な日課に気付き、教師と一 緒に日課に沿って応答しようとしている。 (主学) 日課に沿って教師と共にする学習活動を通 して、意欲的に活動に参加しようとしてい る。	「始まりの会」 「終わりの会」	・始まりの会で今日の学習につい て話を聞き、教師と一緒に日課に 沿って活動する。 ・終わりの会で学習したことを振 り返ったり、次時の学習について 話を聞いたりする。
		エ【遊び】 (知及技) 身の回りの遊びや遊び方について関心をも つことができる。(小1段階) (思判表力) 身の回りの遊びに気付き、教師や友達と同 じ場所で遊ぼうとする。(小1段階) (学・人) 様々な遊びを通して、自分のことに取り組 もうとしたり、意欲的に行動しようとしたり する。(小1段階)	(知・技) 身の回りの遊びや遊び方について関心をも とうとしている。 (思・判・表) 身の回りの遊びに気付き、教師や友達と同 じ場所で遊ぼうとしている。 (主学) 様々な遊びを通して、自分のことに取り組 む、意欲的に行動しようとしている。	「一緒に遊ぼう」	・感触遊び 絵の具や粘土、水や紙や布等色々 な感触の素材や玩具で遊ぶ。 スカーフ等で遊ぶ。 ・季節の遊び 季節や行事に合わせた遊びをする (お正月遊び、豆まき等) ・触れ合い遊び 手遊びや揺れ遊び等をする ・玩具遊び 音が出る、光る、動く等の玩具で 遊ぶ。
		オ【人との関わり】 (知及技) 身の回りの人との関わり方に関心をもつこ とができる。(小1段階) (思判表力) 教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒 に簡単な挨拶等をしようことができる。 (小1段階) (学・人) 小さな集団での簡単な挨拶や返事等の学習 活動を通して、人との関わりに関心をも ち、意欲をもって学んだり、生活に生かそ うとしたりする。(小1段階)	(知・技) 身の回りの人との関わり方に関心をもとう としている。 (思・判・表) 教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒 に簡単な挨拶等をしようとしている。 (主学) 小さな集団での簡単な挨拶や返事等の学習 活動を通して、人との関わりに関心をも ち、意欲をもって学んだり、生活に生かそ うとしたりしている。	「周囲の人に挨拶をし よう」 (挨拶、呼名・返事) 「自分の気持ちを伝え よう」	・スクーリングやリモートを通し て友達や学校の先生と関わる。 ・教師と一緒に周りの人に自分な りの方法で挨拶をしたり、関わり を持ったりする。 ・自分の名前が呼ばれたときに身 振りや表情、挙手や発声等自分な りの方法で返事をする。 ・気持ちを表す言葉を知る。 ・適切な場面で「ありがとう」や 「ごめんなさい」等を教師と一緒 に伝える。 ・友達や教師との関わりの中で、 名前を覚えたり、触れあったり、 簡単な要求を表現したりする。

2 学期	18	力【役割】 (知・技) 集団の中での役割に関心をもつことができる。(小1段階) (思判表力) 身の回りの集団に気付き、教師と一緒に参加しようとするができる。(小1段階) (学・人) 学級等の集団における役割等に関わる学習活動を通して、意欲的に取り組んだり楽しんで参加したりする。(小1段階)	(知・技) 集団の中での役割に関心をもとうとしている。 (思・判・表) 身の回りの集団に気付き、教師と一緒に参加しようとしている。 (主学) 学級等の集団における役割等に関わる学習活動を通して、意欲的に取り組んだり楽しんで参加しようとしている。	「学部や学年行事、交流会に参加しよう」 「一緒に係活動をしよう」	スクーリングやリモートを通して学年の学習活動や学校行事、学部行事等、集団活動に参加する。 (「新入生・転入生を迎える会」「頑張ろう会・頑張った会」「誕生会」「遠足」「交流会」「係活動」「運動会」「6年生を送る会」等) ・ 集団活動を通して友達を知る。 ・ 活動で分担された係に取り組む(教師と一緒に挨拶の号令かけやをする。プレゼント作り等)
		キ【手伝い・仕事】 (知・技) 簡単な手伝いや仕事に関心をもつことができる。(小1段階) (思判表力) 身の回りの簡単な手伝いや仕事を教師と一緒にできる。(小1段階) (学・人) 教師と一緒に身の回りの簡単な手伝い等に関わる学習活動を通して、意欲的に取り組もうとする。(小1段階)	(知・技) 簡単な手伝いや仕事に関心をもとうとしている。 (思・判・表) 身の回りの簡単な手伝いや仕事を教師と一緒に行おうとしている。 (主学) 教師と一緒に身の回りの簡単な手伝い等に関わる学習活動を通して、意欲的に取り組もうとしている。	「先生と一緒に手伝いをしよう」 「学習の後片付けをしよう」	・ 教師と一緒に配布物を配ったり、学習教材を運んだりする。 ・ 学習で使った道具や材料等を教師と一緒に片付けたり、整理整頓をしたりする。 ・ 片付ける物がわかり、教師に伝える。
		ク【金銭の扱い】 (知・技) ・ 金銭の扱い方に関心をもつことができる。(小1段階) (思判表力) ・ 身の回りの生活の中で、教師と一緒に金銭を扱おうとすることができる。(小1段階) (学・人) ・ 簡単な買い物や金銭を大切に扱う等に関わる学習活動を通して、生活に生かそうとする。(小1段階)	(知・技) ・ 金銭の扱い方に関心をもとうとしている。 (思・判・表) ・ 身の回りの生活の中で、教師と一緒に金銭を扱おうとしている。 (主学) ・ 簡単な買い物や金銭を大切に扱う等に関わる学習活動を通して、生活に生かそうとしている。	「買い物ごっこをしよう」 「買い物をしよう」	・ 買い物ごっこを行い、一連の買い物の仕方を知る。 ・ 校外学習でお店に行き、品物を選ぶ、レジに並び、お金を支払うなどの経験をする。 ・ 家庭と協力して、買い物の経験をする。 ・ 身近な自動販売機を利用する。
		ケ【きまり】 (知・技) 簡単なきまりについて関心をもつことができる。(小1段階) (思判表力) 身の回りの簡単なきまりに従って教師と一緒に行動できるようにする。(小1段階) (学・人) 学校生活の簡単なきまりに関わる学習活動を通して、自分のことに取り組もうとする。(小1段階)	(知・技) 簡単なきまりについて関心をもとうとしている。 (思・判・表) 身の回りの簡単なきまりに従って教師と一緒に行動しようとしている。 (主学) 学校生活の簡単なきまりに関わる学習活動を通して、自分のことに取り組もうとしている。	「先生と一緒に簡単なきまりを守ろう」	・ 教師からの言葉かけや合図を聞いて、教師と一緒に行動する。 ・ 日常生活や公共施設での簡単なきまりを知り、行動する。
		コ【社会の仕組みと公共施設】 (知・技) 身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方について関心をもつことができる。(小1段階) (思判表力) 身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えることができる。(小1段階) (学・人) 校内探検や公共の施設利用等の学習活動を通して、意欲的に学習に参加したり、自分のことに取り組んだりする。(小1段階)	(知・技) 身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方について関心をもとうとしている。 (思・判・表) 身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学) 校内探検や校内や公共の施設利用等の学習活動を通して、意欲的に学習に参加し、自分のことに取り組もうとしている。	「家族や親戚、身近な人のことを知ろう」 「学校探検をしよう」 「図書室に行こう」 「校外学習に行こう」 「私の住んでいる所」	・ 家族や親戚、ヘルパーや児童デイの職員の方々等、身近な人について知ったり、その関わりについて話を聞いたりする。 (母の日、父の日、敬老の日、勤労感謝の日を知る) ・ スクーリングで教師と一緒に校内探検等を行い、学年の教室や音楽室、図書室等の名称や場所を知る。 ・ 教師と一緒に図書室等を利用する。 ・ 教師と一緒に公園や身近な公共施設を利用する。(公共施設見学の学習に参加する) ・ 自分が住んでいる地域の出来事(エイサーや綱引き等)を知る。 ・ 居住地校交流学習や学校間交流に参加し、地域の学校や同級生を知り、一緒に活動する。
3 学期		サ【生命・自然】 (知・技) 身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。(小1段階) (思判表力) 身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えることができる。(小1段階) (学・人) 身の回りにある生命や自然について関心をもち、意欲を持って学ぶことができる。(小1段階)	(知・技) 身の回りの生命や自然について関心をもとうとしている。 (思・判・表) 身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学) 身の回りにある生命や自然について関心をもち、意欲を持って学ぼうとしている。	「季節の変化と生活」 「自然に触れよう」 「身近な植物の観察」	・ 今日の天気を知ったり、晴れや雨などの変化に気づく。 ・ 教師と一緒に葉っぱや木の実で遊ぶ。(暑い、寒いなどの身近な自然に関する言葉を知る) ・ 地域の行事を知る。 ・ 校外学習で外気浴をしたり風等を感じたり、身近な小動物をみたりする。 ・ 季節の花や野菜などの植物に触れたり、育てたり、観察したりする。
		シ【ものの仕組みと働き】 (知・技) 身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもつことができる。(小1段階) (思判表力) 身の回りにあるものの仕組みや働きに気づき、それを教師と一緒にみんなに伝えようとするができる。(小1段階) (学・人) 教師と体感をもとにした活動を通して、児童がものの仕組みや働きに関心をもち、意欲を持って学ぶことができる。(小1段階)	(知・技) 身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもとうとしている。 (思・判・表) 身の回りにあるものの仕組みや働きに気づき、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学) 教師と体感をもとにした活動を通して、児童がものの仕組みや働きに関心をもち、意欲を持って学ぼうとしている。	「くらべっこをしよう」 「風あそび、ゴム遊び、光遊び、音遊び」	・ 粘土等を使って「重い・軽い」「固い・柔らかい」等の言葉を聞いたり、感覚を経験したりする。 ・ 水等を使って「温かい・冷たい」等の言葉を聞いたり、感覚を経験したりする。 ・ 風、ゴム、光、音等の性質をいかした遊びをする。 (風ぐるま遊び、うちわ遊び、ゴムを使った紙コップとばし、ひっぱりっこ、影絵遊び、セロファンで光遊び、糸でんわ遊び等)

留意点 引継ぎ等	
-------------	--

令和7年度 小学部 訪問（ II C 課程 ） 音楽 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
21		音楽担当5名

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 音や音楽に注意を向けて気付くとともに、関心を向け、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽作りにつながる技能を身に付けるようにする。(小学部1段階) (思判表力) 音楽的な表現を楽しむことや、音や音楽に気付きながら興味や関心をもって聴くことができるようにする。(小学部1段階) (学・人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養う。(小学部1段階)
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期		A【表現】 ①(知及技) ・様々な音や音楽に気付くとともに、関心を向けることができる。(小学部1段階) ・音楽表現を楽しむためや思いに合った表現をするために必要な技能(身体表現、器楽、歌唱、音楽づくり)を身に付けることができる。(小学部1段階) ②(思判表力) ・音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。(小学部1段階) ③(学・人) ・音楽遊びの学習活動を通して、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じ、生活を楽しむものにしようとする態度を養う。(小学部1段階)	A【表現】 ①(知・技) ・音や音楽に気付き、表情を変えたり、身体や身体の一部を動かしたり、声をだしたりしている。 ・教師と一緒に音や音楽を聴きながら身体を動かしたり楽器を鳴らしたりしている。 ②(思・判・表) ・音楽を聴いたり、楽器を鳴らしたりして表情を変えたり、声をだしたり、身体を動かしたりしている。 ③(主学) ・教師と一緒に、快の状態で楽器に触れたり、音を鳴らしたりしている。	A【表現】 ○歌唱 ・音や歌を感じよう！ ・声を出してみよう！ ○身体表現 ・音楽に合わせて身体を動かそう！ ・先生と触れ合いながら楽しもう！ ○器楽 ・楽器を鳴らそう！ ・用具を使って音を鳴らそう！ ・友だちと一緒に楽器を鳴らそう！	A【表現】 ○歌唱 ・教師の支援を受けて歌を感じる(タッピング、さする、なでる)。 ・教師と一緒に曲の全部または一部を歌ったり、声をだしたり、口を開けたり、息を吹いたりする。(自分なりの表現で) - 曲目：校歌、おながく☆など ○身体表現 ・音楽を聴いて、自由に手足や身体を動かす。教師と一緒に踊る。 - 曲目：触れ合いリラックス体操、ミュージックケア、おながく☆など ○器楽 ・好きな楽器を選ぶ。 ・自分で楽器を持ったり、教師と一緒に楽器を持ったりして、音を鳴らす。 ・教師と一緒に補助具や用具を使って音を鳴らす。 (楽器) ・鈴、腕鈴、指鈴、木琴、鉄琴 ・キーボード、カステネット ・タンバリン、太鼓、パーランクー ・ウクレレ、ツリーチャイム ・カリンバなど - 曲目：まじっくまんぼ、すてきなハーブ、おながく☆など ○音楽づくり ・身近なもの(ストローやゴム、ばつとボトルやビーズ等)に触れたり叩いたりすることで音を鳴らす。
2 学期	21	B【鑑賞】 ①(知及技) ・聞こえてくる音や音楽に気付くことができる。(小学部1段階) ②(思判表力) ・音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさをみつけようとするすることができる。(小学部1段階) ③(学・人) ・音楽遊びの学習活動を通して、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じ、生活を楽しむものにしようとする態度を養う。(小学部1段階) 〔共通事項〕 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して以下を身に付けることができる。	B【鑑賞】 ①(知・技) ・音や音楽に気付き、身体を動かしたり、声をだしたりしている。 ・聞こえてくる音に気付いてじっと動きを止めながら聴いている。 ②(思・判・表) ・音や音楽に気付き、表情を変えたり、身体を動かしたり、声をだしたりしている。 ③(主学) ・音楽を聴きながら、リラックスしたり、快の表情をしたりしている。 〔共通事項〕 ・様々な歌や音楽の音色、リズム、速度、拍子、楽器、音楽の要素、音の響き、音の長さ、音の強弱、音の高低、音の組み合わせ、音の動き、音の表現、音の感情、音のイメージ、音の記憶、音の想像、音の創造、音の表現、音の感情、音のイメージ、音の記憶、音の想像、音の創造	B【鑑賞】 ○いろいろな音を聞こう！ ○いろいろな音楽を聞こう！ ○友達が鳴らす音を聞こう！	B【鑑賞】 ・いろいろな楽器の音を聴く。 ・いろいろな音楽を聴く。 ・パネルシアターや手袋シアター、エプロンシアターを見て楽しむ。 (歌をうたおう、感じよう) ・春の歌：「春の小川」など ・夏の歌：「うみ」「おばけなんてないさ」「やっほっほ夏休み」「エイエイヨー」など

3 学 期		トのことを身に付けることかひさるよつにする。 ①音楽を形づくっている要素（音色、リズム、速度、旋律、強弱、拍の流れやフレーズ）のよさや面白さ、美しさを感じとることができる。 ②絵符や色を用いた音符、休符、記号や用語の意味について触れることができる。	旋律、強弱、拍の流れやフレーズを感じて表情を変えたり体の一部を動かしたりしている。 ・教師と一緒に歌や音楽の特徴が絵符や色を用いた音符等で表している動画等を見ている。	「春の田」など ・秋の歌：「虫の声」「山の音楽家」「トンボのめがね」「夕焼け小焼け」など ・冬の歌：「ジングルベル」「ハッピークリスマス」「あわてんぼうのサンタクロース」「こんこんくしゃんのうた」「お正月」「たこあげ」「鬼のパンツ」「豆まき」「うれしいひなまつり」、おんがく☆など 曲目：がっきのおとあて、おどるこねこ、ガボット、三びきのがらがらどん、おんがく☆など ・絵譜や色を用いた音符、休符や記号や用語
留意点 引継ぎ等				

令和 7年度 小学部 訪問（ 課程ⅡCグループ） 図画工作 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
19		図画工作担当者 5 名

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 身の回りの自然物や人工物等に触れたり見たりすることで形や色などに気付き、様々な材料や用具を使おうとするようにする。(小1段階) (思判表力) 様々な素材や材料に触れ、手指や体の動きによって表したいことを思い付いたり、作品を見たりできるようにする。(小1段階) (学・人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする態度を培う。(小1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	19	A【表現】 (知及技) ①教師と一緒に身の回りの自然物などに触れながら、かく、切る、ぬる、はるなどができる。(1段階Aア(イ)) ②教師と一緒に身近な材料や用具を使い、かいたり形をつくったりすることができる。(2段階Aア(ア)) (思判表力) ②教師と一緒に身の回りにあるものを見たり、触れたりして、形や色の感触の面白さを感じ、表したいことを表現することができる。(1段階A) (学・人) ③教師の支援を受けながら、いろいろな技法を知り、作品を制作する活動を通して、つくりだすことの楽しさを感じることができる。(1段階)	A【表現】 (知・技) ①教師と一緒にいろいろな物に触れ、体の一部を動かしたり表情を変えたりして素材の感触を感じながら、かく、切る、ぬる、はる活動に取り組んでいる。 (思・判・表) ②教師と一緒に、自然物や道具に触れ、感触の違いに気付き、表情や身体を動かしたり、声を出したりして伝えようとしている。 (主学) ③作品をつくりだす楽しさに気付き、表情や身体を動かしたり、声を出したりしている。	A【表現】 (造形遊び) 「好きな形や色を見つけよう」 「いろいろな用具をつかってかこう」 「やぶいてつくろう」 「べったんコロコロ、トントントン」 「いろいろなでこぼこを見つけよう」 「モダンテクニックを知ろう」 「かたちをうつそう」 (立体に表す活動) 「にぎってつくろう」 「はろう！つなげよう！」 「ひらひらゆらそう」 「ひかりとかげえ」	A【表現】 ・学習で使う材料や用具を見たり触ったりして興味のあるものや好きなものを選ぶ ・マジックやクレヨン、絵の具等で様々な点や線、曲線等をかく。 ・マジックやクレヨン、絵の具等で絵を描くなどの活動 ・様々な紙やその他の素材を折る、引っ張る、破っていろいろな形をつくる。 ・スタンプやローラー、様々な素材や道具のかたちを絵の具等でうつして模様をつける。 ・指や手、足等を使ってペインティングをする。 ・様々な凹凸を使用してこすり出しにより模様をつける ・絵の具等を使ってデカルコマニー、スパッタリング、ドリッピング、マーブリング、フロッタージュ、コラージュ、吹き流しの技法で模様をつける。 ・スチレン板に型押しに使える素材を使って模様をつけていく。スポンジローラーを使ってインクをつけて刷っていく。(スチレン版画) ・紙類や粘土等を丸める、のぼす、握る活動 ・粘土で型抜きをする活動 ・アルミ箔を丸める等。 ・紙等を糊で貼る活動 ・紙等をテープや両面テープで貼る活動 ・テープ類や紐類、作った飾りを風に揺らして飾りの見え方を楽しむ。 ・カラーセロファンに光を当てたり、影を作ったりしていろいろな光や形にきづく。
2 学期		B【鑑賞】 (知及技) ①形や色などに表情を変えたり、見つめたりすることができる。(1段階Bア(ア)) (思判表力) ②自然物や、身の回りのいろいろな物に触れたり、見たりして、表情を変えたり、身体を動かすことができる。(1段階)	B【鑑賞】 (知・技) ①いろいろな形や色に触れたり、見たりして、表情を変えたり、見つめたりしている。 (思・判・表) ②自然物や、身の回りのいろいろな物に触れたり、見たりして、表情を変えたり、身体を動かしたりしている。 (主学) ③自分や友達の作品を見て、表情を変えたり、身体を動かしたりしている。		
		(学・人) ③自分の作品や友達の作品を見る活動を通して形や色などに気付き、楽しく創造しようとする。(1段階)			

3 学 期		【共通事項】 (知・技) ①教師と一緒に、自分の感覚や活動を通して、様々な素材や形・色に気付くことができる。(1段階ア(ア)) (思・判・表力) ②教師と一緒に、様々な素材や形・色などを基に、自分のイメージをもつことができる。(1段階ア(イ)) (学・人) ③教師と一緒に、進んで表したり見たりする活動に取り組むことを通して、つくりだすことを楽しむことができる。(1段階)	【共通事項】 (知・技) ①教師と一緒に見たり、触ったりした活動を通して体の一部を動かしたり表情を変えたりして形や色などの感じに気付いている。 (思・判・表) ②教師の支援を受けながら、季節のイメージを感じとり、表情や身体を動かしたり、声を出したりしている。 (主・学) ③教師の支援を受けながら、進んで見たり指や手を動かして飾りつけを楽しんでいる。	「好きなおとで楽器をつくろう！」 「とんかちでとんとんとん」 B【鑑賞】 「いろいろな素材の感触を楽しもう」 ・粘土 ・紙、花紙 ・風船、ビニール ・絵の具 ・スライム等 ・葉、花、豆などの自然物等 「いろいろなものを見よう」 ・自然物を見よう ・作品を見よう	・色かきなつくいく様子や重なつたいろに気付く。 ・心地よい音や好きな音の鳴るものや材料を使ってたたく・振る・こする等をしておとが鳴る楽器をつくる。 ・用具を使って押したりたたいたりして、形を変えたりつくったりする。また、その途中の変化を見る。 B【鑑賞】 いろいろなものを見よう ・自然物や人工物など、身近にあるものを目で見ると、手や足、身体全体で触れる。 ・ものに力を加えてその変化を見る、感じる。 ・身の回りのものを見る。 ・自分の作った作品や友達の作品等を見る。
留意点 引継ぎ等					

令和 7 年度 小学部 訪問（ⅡC課程） 体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
6		体育担当5名

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 教師と一緒に、楽しく体を動かすことができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができるようにする。(小1段階) (思判表力) 体を動かすことの楽しさや心地良さを表現できるようにするとともに、健康な生活を営むために必要な事柄について教師に伝えることができるようにする。(小1段階) (学・人) 簡単な合図や指示に従って、教師と一緒に楽しく運動をしようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養う。(小1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	6	【体づくり運動遊び】 ①知及技 教師と一緒に、手足を動かしたり、体の色々な部位を揺らしたり、教師に触ってもらったりして楽しく体を動かすことができる。(小1段階) ①思判表力 教師と一緒に手足を動かしたり、体の色々な部位を揺らしたり、教師に触ってもらったりして身体を動かすことや触れられることの楽しさや心地良さを声や視線や表情及び身体の動きなどで表現することができる。(小1段階) ①学・人 簡単な合図や指示に従って、体づくり運動遊びを教師と一緒にすることができる。(小1段階)	【体作り運動遊び】 ①(知・技) 教師と一緒に、体を動かしたり、体を揺らしたり、教師に体に触ってもらう活動に快の状態に取り組んでいる。 ①(思・判・表) 教師と一緒に体を動かしたり、揺れを感じたり身体に触れられたりしながら、声を発したり、目や口などを動かしたりして自分なりの表現をしながら、リラックスした表情をしている。 ①(主学) 教師の簡単な合図や指示、言葉かけを聞いて、一緒に体を動かしている。または、教師からの働きかけに応じて覚醒する。	「体を動かそう」 触れあい体操 リーマック体操 健康イキイキ体操 ストレッチ、マッサージなど 「ボールで遊ぼう」 ボウリング 風船バレー コロコロキャッチボールなど 「楽しく踊ろう」 手遊び歌 ラジオ体操 リズム遊び 伝承遊び(通リゃんせ)など	・触れあい体操やリーマック体操などの曲に合わせて、体の色々な部位を教師と一緒に動かしたり、身体を動かされる感覚を味わったりする。 ・静かな音楽をかけて、身体の色々な部位をマッサージしてもらったり、揺らしたりしてもらったりしてリラックスする。 ・色々な体操を用意し、教師と一緒に好きな体操を二者択一等で選び、体操することを繰り返し行う。経験を重ねることで動きの見通しを持ち、安心して、意欲的に取り組む。 ・始まりの合図や終わりの合図を決め、教師と一緒に行う。
2 学期		【ボール遊び】 ②知及技 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすことができる。(小1段階) ②思判表力 ボールを使って身体を動かすことの楽しさや心地よさを自分なりの方法で表現することができる。(小1段階) ②学・人 簡単な合図や指示に従って、教師と一緒にボール遊びを行うことができる。(小1段階)	【ボール遊び】 ②知・技 教師と一緒に、ボールを使って体を動かす活動に快の状態に取り組んでいる。 ②思・判・表 ボールを使って身体を動かすことの楽しさや心地よさを自分なりの方法で表現している。 ②(主学) 教師の簡単な合図や指示、言葉かけを聞いて、一緒にボール遊びをしている。または、教師からの働きかけに応じて覚醒する。(小1段階)	「健康になろう」 手洗い、清拭など 健康チェック	・教師と一緒にボールや風船などを触ったり、転がしたり、押し出したりする。 ・始まりの合図や終わりの合図を決め、教師と一緒に行う。 ・児童の実態に合わせて、教師と一緒に色々な手遊びや触れあい遊び、揺れ遊び、伝承遊び等を行い、音楽にあわせて体を動かす経験を重ねる。 ・教師と一緒に、手や指、顔の部位についての言葉に触れながら、洗ったり清拭したりする。
3 学期		【表現遊び】 ③知及技 教師と一緒に、音楽の流れている場所で楽しく体を動かすことができる。(小1段階) ③思判表力 音楽の流れている場所で体を動かすことの楽しさや心地良さを視線や表情などで表現することができる。(小1段階) ③学・人 簡単な合図や指示に従って、教師と一緒に表現遊びをしようとすることができる。(小1段階) 【保健】 ④知及技 教師と一緒に、うがいなどの健康な生活に必要な事柄に取り組むことができる。(小1段階) ④思判表力 健康な生活に必要な事柄に気付き、教師に伝えることができる。(小1段階) ④学・人 簡単な合図や指示に従って、健康に必要な事柄をしようとする態度を養う。(小1段階)	【表現遊び】 ③(知・技) 音楽を聴きながら、教師と一緒に体を動かしている。 ③(思・判・表) 音楽を聴きながら、教師と一緒に体を動かし、リラックスしたり、表情を変えたりしている。 ③(主学) 教師の簡単な合図や指示、言葉かけを聞いて、一緒に表現遊びをしようとしている。または、教師からの働きかけに応じて覚醒する。 【保健】 ④(知・技) 教師と一緒に、うがいなどの健康な生活に必要な事柄に取り組んでいる。 ④(思・判・表) 健康な生活に必要な事柄に気付き、教師に伝えようとしている。 ④(主学) 教師の簡単な合図や指示、言葉かけを聞いて、一緒に体を動かしている。または、教師からの働きかけに応じて覚醒する。		・体調が悪いときに自らの変化に気付いて、教師に表情などで伝える。ケア後に「すっきりしたね」「(表情にだして) 伝えることができたね」と称賛する。
留意点 引継ぎ等					

令和 7 年度 小学部 訪問（Ⅱ課程(グループ)） 特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
4		特別活動担当 5 名

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 教師や友達など身近な人々と関わり、集団活動に参加することができる。 (思判表力)様々な集団活動において、教師や友達、身近な人々と一緒に過ごすことの楽しさや嬉しさを自分なりに表現することができる。 (学・人)集団活動を通して身に付けたことを生かし、教師や友達など身近な人との関わりを受け入れ、他者に関心を示そうとすることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
一学期	4	(知及技)各学校行事について知るとともに、各学校行事に必要なことを理解し、それぞれの学校行事のねらいや内容に即した行動の仕方や習慣を身に付けることができる。 (思判表力)学校行事を通して学校生活の充実を図り、大きな集団による集団活動や体験的な活動に協力して取り組むことができる。 (学・人)学校行事を通して身に付けたことを生かして、多様な他者と尊重し合いながら協働し、公共の精神を養い、よりよい生活をつくろうとする態度を養うことができる。	(知・技)各学校行事について知るとともに、各学校行事に必要なことを理解し、それぞれの学校行事のねらいや内容に即した行動の仕方や習慣を身に付けようとしている。 (思・判・表)学校行事を通して学校生活の充実を図り、大きな集団による集団活動や体験的な活動に協力して取り組もうとしている。 (主学)学校行事を通して身に付けたことを生かして、多様な他者と尊重し合いながら協働し、公共の精神を養い、よりよい生活をつくろうとする態度を養おうとしている。	【学校行事】 「儀式的行事」 ・就任式・始業式 ・入学式 ・終業式 ・修了式 「健康安全の行事」 ・身体測定 ・心電図検査 ・避難訓練 「校外学習に参加しよう」 「学校行事に参加しよう」	儀式的行事 各学期において ・始業式、終業式等に参加する ・式の動画視聴をする。 ・式の参加マナーを知る。 ・厳粛で清新な気分を味わう。 健康安全の行事 ・身体測定や健康診断等を通して、自身の健康状態に関心を持ったり、健康の保持増進に努めたりする。 ・友達と避難訓練に参加する。 ・友達と校外学習に参加し、よりよい人間関係を形成する。 ・自然や文化に触れて親しむ。 ・集団活動を通して、公衆道徳などの体験を積む。 ・運動会や音楽鑑賞会に参加する。 ※体験的活動の事前学習や事後学習は他の教科学習で行う。
		(知及技)学級生活を楽しくするために他者と協働して取り組むことの良さや大切さを感じることができる。 (思判表力)自分の意見を伝えたり他者の意見を聞いたりする中で、多様な意見があることを知り、それらを認め合うことができる。 (学・人)多様な他者とよりよい人間関係を形成し、協働して日常生活の向上を図ろうとする態度を養うことができる。	(知・技)学級生活を楽しくするために他者と協働して取り組むことの良さや大切さを感じようとしている。 (思・判・表)自分の意見を伝えたり他者の意見を聞いたりする中で、多様な意見があることを知り、それらを認め合おうとしている。 (主学)多様な他者とよりよい人間関係を形成し、協働して日常生活の向上を図ろうとする態度を養おうとしている。	【学級活動】 <毎学期> 「友だちと一緒に活動しよう」 ・スクーリング ・オンライン交流 ・居住地校交流	・スクーリング等を通して、友達や学校の教師を知り、一緒に活動する。 ・友達と一緒に活動し、集団でのルールや決まり等を知り、取り組む。(あいさつや、順番を知る、保健室や図書館の利用の仕方を知る等)
		(知及技)基本的な生活習慣や節度ある生活の大切さを理解し、行動することができる。 (思判表力)自己の生活を振り返って課題に気づき、解決に向けて話し合ったり、自分に合った方法を実践したりすることができる。 (学・人)自己の目標に向かって主体的に取り組み、基本的な生活習慣を身に付け、進んで楽しく豊かな学級、学校生活をつくろうとする態度を養うことができる。	(知・技)基本的な生活習慣や節度ある生活の大切さを理解し、行動しようとしている。 (思・判・表)自己の生活を振り返って課題に気づき、解決に向けて話し合ったり、自分に合った方法を実践したりしようとしている。 (主学)自己の目標に向かって主体的に取り組み、基本的な生活習慣を身に付け、進んで楽しく豊かな学級、学校生活をつくろうとする態度を養おうとしている。	【学級活動】 <毎学期> 「係活動に取り組もう」 「友だちと一緒に活動しよう」 「休みの過ごし方」	・スクーリング等を通して、学校の友達や教師を知る。 ・友達に挨拶をしたり、お話をしたりする。 ・友達と集団での活動を経験する。 ・学校行事（学習発表会や児童会行事等）での係に取り組む。 ・夏休みや冬休み、春休みの過ごし方について話を聞く。
二学期	4	(知及技)自分自身の興味・関心やよさなどの個性を理解することができる。 (思判表力)日常生活について実現可能で具体的な目標を立てたり、意思決定したりすることができる。 (学・人)希望や目標を持って、自己のよさを生かして主体的に活動する態度を養うことができる。	(知・技)自分自身の興味・関心やよさなどの個性を理解しようとしている。 (思・判・表)日常生活について実現可能で具体的な目標を立てたり、意思決定しようとしている。 (主学)希望や目標を持って、自己のよさを生かして主体的に活動する態度を養おうとしている。	【学級活動】 <毎学期> 「好きなことや得意な ことを見つけよう」 「目標を立てよう」 「振り返ってみよう」	キャリアパスポートを活用した取り組み。 各学期において ・教師と自分自身の良さや好きなことを見つけたり、考えたりする。 ・学期の始めに目標をたてる。 ・学期末に振り返る。
三学期	4				

	(知及技)児童会や委員会の活動について知るとともに、運営の仕方や異年齢集団による交流の仕方等を身に付けることができる。 (思判表力)児童会や委員会の一員として、学校生活の充実と向上を図るための課題や活動計画、役割等について話し合い、協力して取り組むことができる。 (学・人)多様な他者と互いのよさを生かして協働し、よりよい学校生活をつくろうと積極的に取り組む態度を養うことができる。	(知・技)児童会や委員会の活動について知るとともに、運営の仕方や異年齢集団による交流の仕方等を身に付けようとしている。 (思・判・表)児童会や委員会の一員として、学校生活の充実と向上を図るための課題や活動計画、役割等について話し合い、協力して取り組もうとしている。 (主学)多様な他者と互いのよさを生かして協働し、よりよい学校生活をつくろうと積極的に取り組む態度を養おうとしている。	【児童会活動】 < 1 学期 > ・新転入生歓迎会 < 学年の実施時期に応じて > ・児童集会 < 3 学期 > ・ 6 年生を送る会 ・ 児童会役員選挙	新転入生歓迎会 ・ 会に向けた係に取り組む。 ・ 新入生を知る。 ・ 卒業生を知る。 ・ 会に参加する。 児童集会 ・ 自己紹介をしたり、学年の友達と一緒に発表をしたりする。 ・ 集会活動の経験を積み、よりよい人間関係を形成する。 ・ 学年発表や挨拶などの割り当てられた役割を遂行する。 6 年生を送る会 ・ 6 年生の卒業をみんなで祝福し、全児童で楽しく関わり思い出を作る。 児童会役員選挙 ・ 選挙規則や選挙の方法について知る。 ・ 投票箱や記載台を利用し、実際の選挙の雰囲気味わう。 ・ 立候補者の演説を聞き、候補者の中から選び、投票する。
留意点 引継ぎ等				

令和 7 年度 小学部 訪問（ⅡC課程） 道徳科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
4		道徳担当5名

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		教育活動全体を通して、基本的な生活習慣の形成を図るとともに、よりよく生きるための基盤となる道徳性を育てる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	4	①・身近な大人の存在に気付き、親しみの気持ちをもつ。 ・気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに気付き、明るく接しようとする気持ちをもつ。	①・身近な大人の存在に気付き、親しみの気持ちをもとうとしている。 ・気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接しようとしている。	①新しい先生、新しい学年 【礼儀、親切、思いやり】	①・スキンシップや触れ合い遊び等を通して新しい担任や環境に気付き、慣れる。 ・スクーリングなどで、普段会わない人から言葉をかけられた時に、自分でできる方法で応じる。
		②家族など日頃世話になっている人々に感謝しようとする気持ちをもつ。	②家族との関わりに心地よさや喜びを感じ、安心感をもち、教師と一緒に感謝の気持ちを伝えようとしている。	②お父さんお母さんいつもお世話になっている看護師さんやその他の皆さん、ありがとう 【家族愛、家庭生活の充実】【感謝】	②母の日や父の日、勤労感謝の日になんだ絵本の読み聞かせやプレゼント作りなどを通して感謝の思いを伝える。
		③周りの人と関わる心地よさや喜びを感じ、身近な大人と関わろうとする気持ちをもつ。	③身近な大人と関わる心地よさを感じ、リラックスしている。	③先生と遊ぼう 【信頼】	③教師と関わりながら、ふれあい遊びや揺れ遊びなどのいろいろな活動を経験する。 （温かい雰囲気の中で、児童の思いや欲求をありのままに受け止める関わりを行う。）
2 学期		④様々なものを見たり、触れたりして感動する気持ちをもつ。	④様々なものを見たり、触れたりして感動したり、覚醒したりしている。	④すてきだね 【感動、畏敬の念】	④季節の遊びや伝統行事を体験したり、身近な自然（動植物）に触れたりする。 ・子どもの日 ・プラネタリウム ・エイサー会館 ・クリスマスイルミネーション ・季節の草花 ・エイサー ・ムーチャー ・スマイルフェア ・ひなまつり
		⑤自分のやるべき勉強や仕事を行おうとする気持ちをもつ。	⑤自分のやるべき勉強や仕事を行おうとしている。	⑤今日の勉強 【希望と勇気、努力と強い意志】	⑤自分のやるべき勉強や仕事にはどのようなものがあるかを知り、教師と一緒に取り組む。
		⑥身近にいる人に温かい心で接し、親切にしようとする気持ちをもつ。	⑥身近にいる人に温かい心で接し、親切にしようとしている。	⑥心が気持ちいいね 【親切、思いやり】	⑥相手の考えや気持ちに気付き、親切にすることの大切さや親切な行為について学ぶ。
3 学期		⑦自分の特徴に気付いたり、気付いてもらったりして長所を伸ばそうとする気持ちをもつ。	⑦自分の特徴に気付いたり、気付いてもらったりして、長所を伸ばそうとしている。	⑦～が得意だよ 【個性の伸長】	⑦今できることやできそうなことを生かして、様々な活動に取り組む。

留意点 引継ぎ等	
-------------	--